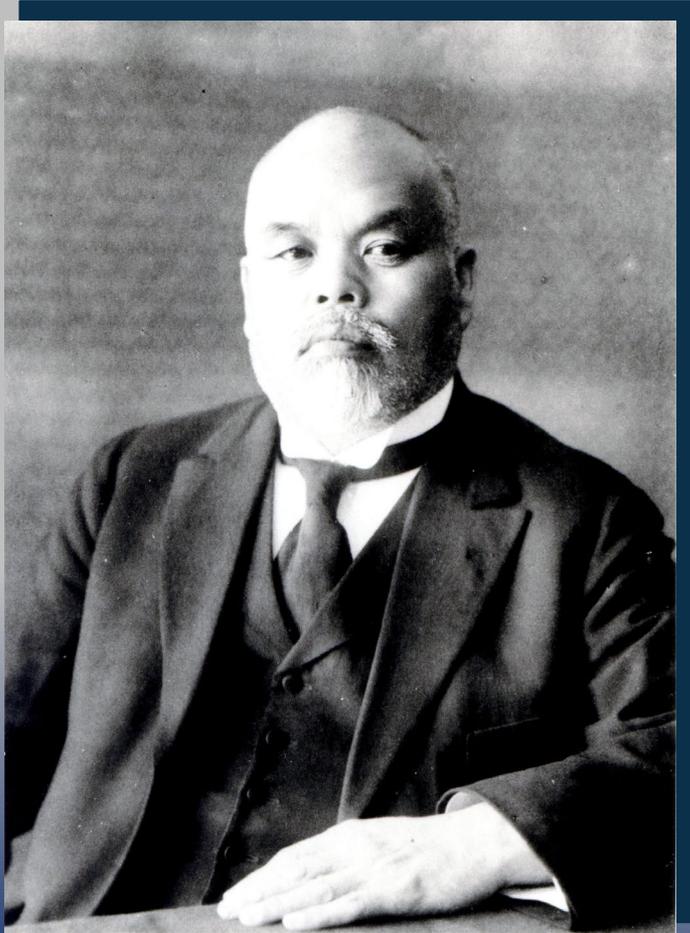


## 山岡塾創設の経緯

「山岡塾」は、1922年に本学の学是「学の実化」を提唱した山岡順太郎（総理事・第11代学長）に由来します。実業家としても数多くの会社の社長・役員等を歴任した山岡は、大阪商業会議所の会頭を務め、関西経済の発展に大きく寄与しました。「学の実化」とは、大学は教育研究に実社会の知識や経験を取り入れ、社会は大学の学術研究の成果を取り入れることによって、「学理と実際との調和」を求める考え方です。この理念を具現化する新たな試みとして、「山岡塾」は創設されました。



## 山岡順太郎先生とは

### 第11代学長 総理事

慶応2年（1866年）9月18日石川県に生れる。

金沢医学校に入学したが、「志は医に非ず」として退学し、陸軍士官を志して上京。ゆえあって士官も断念。明治18年、茨城県に就職。

明治25年、同郷の先輩で逓信省にいた中橋徳五郎をたよって逓信省に入省、同省主計課法規係長にまで進んだが、中橋の官界辞去と共に31年辞職。中橋と共に同年9月、大阪商船株式会社に入社。以来10数年中橋社長を助け大阪商船の発展の基礎を築く。

また、当時衰退していた大阪鉄工所（日立造船の前身）の社長となり、積極経営が功を奏して、見事再建に成功。一躍、大阪財界に名を馳せた。

他に日本電力などの社長となり、更に、宇治川電気、大阪曹達など10有余の会社役員を兼ねた。大正6年から大正10年まで、大阪商業会議所会頭を務めた。

関西大学とのかかわりはこの頃からで、本学理事柿崎欽吾(当時大阪商船顧問弁護士)の斡旋により、大正9年、本学評議員に推挙され、大正11年5月総理事に選任された。翌年学長に選任される。千里山学舎建設、大学昇格などの大事業を遂行、本学中興の祖といわれる。昭和3年（1928年）11月26日没した。62歳

※関西大学 年史編纂室ホームページより抜粋し一部改変